



フェイズ1プログラム

基礎コース

コースハンドブック

ver.11

春入学・秋入学共通

一般社団法人

日本プロセスワークセンター

このコースハンドブックは、プログラムを進めていく上で常に参照するガイドブックのようなものです。
大切に保存し、時に応じて参照してください。

また日本プロセスワークセンターのホームページ jpwc.or.jp で最新版のハンドブックがダウンロード
できます。

フェイズ1 プログラム 基礎コース

コースハンドブック

目次

はじめに.....	3
フェイズ1 プログラム.....	4
基礎コース.....	4
1. 基礎コースの特徴.....	4
2. セミナー開講.....	4
3. 開講の時期.....	4
4. セミナーの実施場所.....	4
5. センターとの連絡方法.....	4
6. 「学生記録」.....	5
7. カリキュラム.....	5
7-1. 必須セミナー.....	5
各領域のセミナーの概要.....	5
7-2. 個人課題.....	6
8. 修了に必要な要件.....	7
(表1) 基礎コースの必須セミナー・個人課題一覧.....	7
9. 修了証授与.....	7
10. セミナーへの遅刻・欠席など.....	7
11. 履修費用.....	8
(1) 基礎コース入学時納入金に含まれている費用.....	8
(2) 学生登録.....	8
(3) ご注意.....	8
12. ご連絡・お問合わせ先.....	9
13. 一般社団法人プロセスワークセンタースタッフ一覧.....	10

はじめに

創始者アーノルド・ミンデル博士によるプロセスワークを通底している哲学のひとつに、「すべて生じていることには意味がある」というものがあります。皆様がプロセスワークに興味を持たれ当センターにいらっしまったこと、まずはこの出会いを祝福したいと思います。日本プロセスワークセンターへ、ようこそいらっしまいました。

当センターは、プロセスワークの広範囲な領域をすべて網羅するセミナー・ワークショップ、学ぶ人自身が自分の深いレベルでの思いやこれまで気づいていなかった新しい側面に出会えるようなセッション、そしてプロセスワークの実践を支えるライブスーパービジョン等、皆様にプロセスワークを理解し、体験し、実践していただくための様々な学びの機会を提供しています。センターのファカルティはみな、プロセスワークの専門家「プロセスワーク・ディプロメイト」という資格を有しており、また当センターは日本でこの資格を授与できる唯一の機関です。

当センターのプログラムの3つの特徴についてお伝えします。

まず、当センターのプログラムは、初心者から上級者まで、より全体的に、段階的に学んでいただけるようになっています。初級者はより「体験」が中心であり、中級者から「プロセスワークを提供する」側としてのトレーニングが入ってきます。プロセスワークや周辺領域の知識はもちろんのこと、プロセスワークを実践していくためのスキルを体得するために必要なスキルトレーニング、自分自身のあり方を自覚していくメタスキルへのアプローチなど、学びの段階に合わせて、「広く」「深い」体験を積み重ねていけるようプログラムは構成されています。

つぎに、プロセスワークの学びの中心は「センター」ではなく、学生の皆さんひとりひとりのプロセスです。修了要件を満たすことだけがゴールなのではありません。プロセスに応じて、センターの内外で、能動的にプロセスワークを体験し、学習し、実践していくことが、学生のみなさんに求められます。ですから、好奇心や関心に従って、あるいは共時的な出来事に導かれて、修了要件以外のセミナーに参加することもあるかもしれません。またあるいは、ご自身の陥りやすいパターンやひっきりやすいテーマなどを乗り越えるため、修了要件以上のセッションを受けるかもしれません。そうして学生の皆さんが個々のプロセスに従い、プロセスが求めているだけの学びを、主体的に積み上げていくことが、プロセスワークを体得していく王道だと考えます。

そして、当センターは、学ぶ方々と手を携え、共に成長し変容していこうとする「ラーニング・コミュニティ」（学びの共同体）でもあります。このコミュニティで起こる様々なことに、学生同士やファカルティ（教員）と共に向き合い、プロセスワークを通してともに成長していきます。私たちは、プログラムを提供する教師であると同時に、このコミュニティで起こる様々なことに、学生の皆さんと共に向き合い、コミュニティとして成長していきたいと思っています。

最後になりましたが、当センターでの学びが、豊かで実り多く、お一人お一人の人生をより深める旅であることを願っています。

一般社団法人 日本プロセスワークセンター
ファカルティー同

フェイズ1 プログラム

基礎コース

1. 基礎コースの特徴

フェイズ1 プログラム基礎コースでは、プロセスワークの基本7領域に触れ、シグナルやチャンネル、3つのレベルの現実などプロセスワークの視点になじみ、自らがワークを体験しながら、学んでいくことを中心としています。プロセスワークの7領域を学ぶことで、どのような人にも、どのような形態でも、相手に添った形でコミュニケーションを確立していくことを目指します。また個人や組織がまだ自覚していない、新しい成長への種子に、より受け入れやすい形でアプローチしていくことが可能になります。

プロセスワークの基礎理論が各7領域でどのように流れているかを理解し、また各領域に親しみながら、プロセスワークをより深く体験し、日常生活や仕事に生かすことがこのコースの目的です。

2. セミナー開講

基礎コースのセミナーは、初級者レベルの一般参加者にも開放され、さまざまな人たちと交流しながら学習を進めていきます。ここでは、コース内外の人たちとサポートし合いながら、学びを深めて行きます。

3. 開講の時期

基礎コースは、一年度内に2回開講し、5月（または6月）の春入学、10月（または11月）の秋入学があります。

開講日は、当センターのウェブサイト (jpwc.or.jp) 上で、セミナーカレンダーをご覧ください。当センターまでお問い合わせください。

◇春入学の開講期間：5月から8月（または6月から9月）の4ヶ月間

◇秋入学の開講期間：10月から翌年1月（または11月から翌年2月）の4ヶ月間

4. セミナーの実施場所

基礎コースセミナーは、すべて東京で開催されます（2017年10月現在）。また、他コースや自由選択科目セミナーでは、外部会場やWeb会議システムでセミナーが行われることもありますので、事前によく確認をしてください。

当センターで開講予定のセミナーやクラスの詳細などは、年間のセミナー&イベントカレンダー、またはウェブサイト (jpwc.or.jp) の「イベント・セミナー情報」のページをご覧ください。

5. センターとの連絡方法

セミナーなどに関するお問い合わせは、当フィールドサポート entry@jpwc.or.jp へご連絡ください。当日の欠席や遅刻などの緊急連絡は、担当のセラピストや講師に直接ご連絡ください。

6. 「学生記録」

「学生記録」は、行ったセッションやセミナーを記録しておくためのものです。セッションやセミナーのつど、参加したことの確認として、セラピストや講師のサインをもらってください。アドバイザーが学習の進捗を確認する際に必要となります。また、フェイズ 2 プログラムへの進級をお考えの方にとっては、基礎コース修了認定の根拠となります。大切に記録・保管してください。

当センター主催以外のセミナーや、個人セッションおよびスーパービジョン等についても、各学生の責任において、各セラピスト、スーパーバイザー、講師等のサインをもらってください。

7. カリキュラム

実際に基礎コースで学んでいく上でカリキュラムとして、「必須セミナー」への参加と「個人課題」の大きく 2 つの柱があります。

7-1. 必須セミナー

1日7時間（10:00～18:00、休憩1時間）のセミナーが月2回、4ヶ月間開催されます。

プロセスワークの7つの領域（ボディワーク、ムーブメントワーク、インナーワーク、ワールドワーク、関係性のワーク、変性・極限意識状態のワーク、夢のワーク）について、各領域で基本的なスキルの学習が1日ずつ体験できるよう、構成されています。

最終日は「統合のワーク」セミナーとして、これまでの学びの振り返りや統合の時間となっています。

各領域のセミナーの概要

- ① **ボディワーク1**
プロセスワークの出発点となった身体症状のワークをはじめ、身体感覚にかかわる考え方や技法を学びます。
- ② **ムーブメントワーク1**
プロセスワークの特徴の一つであり、すべてのワークに使われるムーブメントワーク（動作のワーク）の初歩を学びます。
- ③ **インナーワーク1**
自分自身についてワークする方法について学びます。それがセラピーやグループワークファシリテーションとどうつながるかを実践的に学びます。
- ④ **ワールドワーク1**
グループファシリテーションについての基本的な考え方や手法について学びます。
- ⑤ **関係性のワーク1**

二人の人を対象としたワーク（カップルワーク）について、その基本的な理論や手法について学びます。

⑥ **変性・極限意識状態のワーク1**

意識状態の様々なレベルに慣れ、また意識状態にかかわる様々な概念（メタコミュニケーターなど）を理解し、社会や文化との文脈の中で意識状態を捉えます。

⑦ **夢のワーク1**

プロセスワーク流の夢の扱い方や夢にかかわる概念を学んでいきます。

⑧ **統合のワーク 1（これまでの振り返りとまとめ）**

これまでセミナーで学んできたことなど、4ヶ月間の学びを振り返り、これらを消化し自分の力として統合していくセミナーです。

7-2.個人課題

① **アドバイザーミーティング**

コースを受講するにあたってのご自身のニーズの整理や、方向性の確認、またセミナー中に生じた疑問を解消するなど、プロセスワークの学習をサポートするため、アドバイザーとのミーティングの時間が設けられています。

入学後できるだけ早い時期に、当センターファカルティー一覧の中からひとり、ご自分でアドバイザーを選び、ミーティングの予約をしてください。アドバイザーと対面で、あるいは遠方などで対面でのミーティングが難しい場合は、スカイプなどを利用して、基礎コース4ヶ月の期間中に2回ミーティングを持ちます。

② **個人セッション**

個人セッションとは、セラピストとの一対一のセッションを指します。

プロセスワークをクライアントとして体験することは、これまで自分にとって未知だった部分に触れ、より自分の全体性を理解し、生きるための助けとなると同時に、プロセスワークを体得する上でも、大事な経験になるでしょう。

入学後できるだけ早い時期に、当センターファカルティー一覧の中からひとり、アドバイザーとは違うファカルティを個人セッションのセラピストとして選び、セッションの予約をして下さい。セラピストと対面で、あるいは遠方などで対面でのセッションが難しい場合は、スカイプなどを利用して、基礎コース4ヶ月の期間中に3回セッションをします。

③ **トライアド（学生同士による自主勉強会）**

プロセスワークの学びの中では、対人関係のパターンに気づいていくこと、何らかの葛藤が生じた場合に、それを実践的にファシリテートすることが求められます。

このトライアドは、受講生同士3人でグループを組み、4ヶ月の受講期間中に3回ほど会うことが求められています。同じ地域に学生がいない場合は、別の地域の学生と会議電話やインターネットを利用して行うこともできますが、できれば時には実際に会って勉強会をすることを勧めます。

トライアドは、セミナーで学んだことの復習や、エクササイズなどを3人で再度試してみたり、

クライアント役やセラピスト役を決めて、プロセスワークの構造を見立ててみる練習をするなど、学習の機会とすることも可能です。

8. 修了に必要な要件

下記①から③までを満たすことが修了の要件となります。

- ① 基礎コース必須セミナーへの全出席（2015年度からの新プログラムへの移行措置として、他のセミナーで代替とみなす場合もあります。）
- ② 個人課題の修了
- ③ セミナー・個人課題の記録提出

具体的には、（表1）に示す一覧表にある項目となります。

（表1） 基礎コースの必須セミナー・個人課題一覧

内容		回数や時間
必須セミナー 8科目 (計8日間)	ボディワーク1	1日(7時間)
	ムーブメントワーク1	1日(7時間)
	インナーワーク1	1日(7時間)
	ワールドワーク1	1日(7時間)
	関係性のワーク1	1日(7時間)
	変性・極限意識状態のワーク1	1日(7時間)
	夢のワーク1	1日(7時間)
	統合のワーク1	1日(7時間)
個人課題	アドバイザーミーティング	2回(2時間)
	個人セッション	3回(3時間)
	トライアド	4ヶ月の受講期間内3回以上 1回2～3時間が目安

9. 修了証授与

基礎コースを修了された方には、「フェイズ1プログラム基礎コース修了証」が授与されます。何らかの事情により、必須セミナーや個人課題を基礎コース期間中に修了することができない場合は、修了が延期となります。修了は1年後の基礎コース終了時まで（春入学の場合は翌年春期まで、秋入学の場合は翌年秋期まで）に必要な要件を全部完了した場合に限ります。

10. セミナーへの遅刻・欠席など

欠席する場合は、そのセミナー開始時間の48時間前までにフィールドサポートentry@jpowc.or.jpまでご連絡ください。セミナー開始の48時間前までにご連絡いただいた場合は、その後1年以内（春入学の場合は翌年春期まで、秋入学の場合は翌年秋期まで）に開催される基礎コース内の同科目セミナー（例：ボディワーク1に欠席した場合→次回の基礎コースのボディワーク1）に振替られます。

1年以内の同科目に振替が不可能な場合は、同期間内の他のセミナーに代金を充当することができます。

原則として、1日7時間のセミナーに、1時間以上の遅刻については、セミナー講師から学習内容のフォロー課題が提示されます（例：個人セッションで補習をするなど）。

1日7時間のセミナーに1時間以上3時間未満遅刻の場合は、必要修了要件上は、7時間のうち半分セミナーを欠席したとみなされます。3時間以上の遅刻をした場合、必要修了要件上は、1日分のセミナーを欠席したとみなされます。

なお、一旦納入された参加費は返金されません。あらかじめご了承ください。

（注）遅刻時間によっては、修了要件の時間上は、出席として認められない場合があります。

	2時間半セミナー	1日7時間セミナー
20分～1時間未満の遅刻	セミナー半分欠席とみなされる	—
1時間～3時間未満の遅刻	セミナー欠席とみなされる	セミナー半分欠席とみなされる
3時間以上の遅刻	—	セミナー欠席とみなされる

11. 履修費用

(1) 基礎コース入学時納入金に含まれている費用

- ◇基礎コース必須セミナー受講料（8日間）
- ◇アドバイザーミーティング料（2回分）
- ◇個人セッション（3時間分）（注：ファカルティによっては追加料金がかかります。）
- ◇学生登録料（開講から閉講までの4ヶ月間分）

(2) 学生登録

- ◇基礎コース 入学月の1日から4ヶ月目末日までは学生登録されます。
- ◇当該期間中は、日本プロセスワークセンターの学生として、当センターのセミナーをすべて学生料金で受講することが可能です。それ以外の期間は一般料金となりますのでご注意ください。

(3) ご注意

- ◇一旦納入された納入金および各受講料は、納入後に入学を辞退されるような場合、またプログラムを中途退学されて既に参加費を払ったセミナーに参加されない場合でも、原則として払い戻しいたしません。ご注意ください。
- ◇参加者の都合でセミナーを欠席のご連絡を48時間以内にいただいた場合は、その後1年以内（春入学の場合は翌年春期まで、秋入学の場合は翌年秋期まで）に開催される基礎コース内の同科目セミナーの基礎コースセミナーに振替えて参加できます。

12. ご連絡・お問い合わせ先

一般社団法人 日本プロセスワークセンター

〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目10-64

ウェブサイト: <http://jpwc.or.jp>

電子メール (フィールドサポート担当): entry@jpwc.or.jp

電話/Fax: 03-6409-6558

*電話受付時間は: 祝日を除く月曜日 10:00~13:00、14:00~17:00

*スタッフ不在の場合は、留守番電話応答となります。電子メールによる問い合わせを推奨します。

13. 一般社団法人プロセスワークセンタースタッフ一覧

(2018年4月1日現在。項目内50音順。)

理事／監事		氏名
センター長／代表理事		佐野浩子
理事		平井みどり、富士見ユキオ、松村憲
監事		坂元仁美
スタッフ		氏名
ファカルティ		くにもとときく（ココロとカラダ 森の相談室）
		桑原香苗（有）フィールド・シフト代表取締役）
		坂元仁美（監事／Technosophics, Ltd. 代表）
		佐野浩子（代表理事／Presence Bloom代表）
		田所真生子（元名古屋大学特任准教授）
		田中保子（奏（かなで）代表/ 武蔵野大学大学院人間社会研究科実践福祉学専攻（修士課程）在学中）
		平井みどり（理事／結友留（ゆうりゅう）主宰）
		富士見ユキオ（理事／富士見心理面接室主宰）
		松村憲（理事／(株)Blue Jigen代表取締役）
		村松康太郎（Earth Dreaming主宰）
準ファカルティ		加瀬まさよ
特別アドバイザー		岸原千雅子（こころとからだの相談室アルケミア主宰）
		藤崎亜矢子（米国プロセスワークインスティテュート）
顧問		青木聡（大正大学教授）
		詠孝（心理・教育相談室TAKA主宰）
		諸富祥彦（明治大学教授）
倫理委員	外部倫理委員	濱野清志（京都文教大学教授）
		村川治彦（関西大学教授）
	内部倫理委員	桑原香苗、坂元仁美

- **理事**：理事は、実際の運営の中心となって方針策定や実施を行うファカルティ（社員）です。
- **監事**：理事の職務執行を監督しファカルティ（社員）総会に報告します。
- **特別アドバイザー**：ファカルティは認定プロセスワークディプロメイトで構成されますが、理事会は、認定プロセスワークディプロメイト以外の特別アドバイザーをおくことができます。アドバイザーは組織運営についてのアドバイスをするものとしします。

- 顧問：理事会はまた、顧問を置き、とくにセンターのプロセスワークコミュニティ全般への貢献についてその意見を傾聴します。顧問には、日本において長年にわたってプロセスワークを愛し、普及に貢献して下さった方々をお願いしています。
- 倫理委員会：理事会は、倫理委員会を設置します。倫理委員会は、ファカルティから出される内部委員2名、プロセスワーク以外の領域の有識者から選ばれる外部委員2名で構成され、互選で選定されます。倫理委員会は、プロセスワークを行う上での倫理基準の策定を行います。また、プログラムの学生やサービスを受ける対象者は、苦情の申立て先が学生担当・苦情対応では不適切だと考える場合、あるいは、学生担当・苦情対応のレベルで解決に至らなかった場合に、倫理委員会に直接的に訴えることが可能です。倫理委員会は、調査・勧告を行い、問題の解決を図ります。

フェイズ1 プログラム
基礎コース
ハンドブック
ver.11

春入学・秋入学共通

編集・発行：
一般社団法人日本プロセスワークセンター

〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目10-64

電話/FAX：03-6409-6558

Website：http://jpwc.or.jp

E-mail：entry@jpwc.or.jp

発行日：2018年10月1日